2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　株式会社アルプス技研　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4641　　URL https://www.alpsgiken.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 須藤　泰志
問合せ先責任者　(役職名) 経営企画部長　　(氏名) 石橋　武　(TEL) 042(774)3333

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	40,602	6.3	3,705	△5.6	3,883	△4.5	2,584	△3.7
2025年12月期第３四半期	38,190	6.2	3,924	9.4	4,065	9.4	2,683	13.6

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　2,862百万円(1.7 %) 2025年12月期第３四半期　2,813百万円(　16.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	43.89	ー
2025年12月期第３四半期	45.54	ー

(注)当社は、2026年５月14日開催の取締役会において、2026年７月１日付で普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を行うことを決議し、実施しております。なお、「１株当たり四半期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	31,230	21,058	67.2
2025年12月期	29,311	20,436	69.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　20,998百万円　2025年12月期　20,374百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	47.00	ー	61.00	108.00
2026年12月期	ー	54.00	ー		
2026年12月期(予想)				18.00	ー

(注)１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
２．当社は、2026年５月14日開催の取締役会において、2026年７月１日付で普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を行うことを決議し、実施しております。これに伴い、2026年12月期（予想）の１株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	5.4	5,700	5.6	5,800	4.6	3,900	△2.0	66.27

(注)１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
２．2026年12月期の連結業績予想における「１株当たり当期純利益」については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して計算しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　－　社（社名）　　－　、除外　－　社（社名）　　－

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期３Ｑ	62,240,025株	2025年12月期	62,240,025株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	3,358,845株	2025年12月期	3,389,241株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	58,871,318株	2025年12月期３Ｑ	58,935,558株

（注）当社は、2026年５月14日開催の取締役会において、2026年７月１日付で普通株式１株につき３株の割合をもって株式分割を行うことを決議し、実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想の前提となる条件等については、添付資料２頁「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により前記予想と異なる場合があります。

（参考）個別業績予想

2026年12月期の個別業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	3.2	4,900	3.1	3,400	△3.0	57.77

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

２．2026年12月期の個別業績予想における「１株当たり当期純利益」については、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して計算しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
(継続企業の前提に関する注記) …… 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) …… 7
(セグメント情報等) …… 8
(重要な後発事象) …… 10
３．(参考)
(1) 2026年12月期第３四半期の(要約)個別四半期損益計算書 …… 13

１．経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、物価上昇や自然災害の影響がみられたものの、企業の投資意欲は依然高く、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、地政学リスク、とりわけ中東地域の紛争に端を発した原油供給の停滞、資材等の高騰や金利の上昇等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした社会・経済環境の中、大手製造業各社は、競争優位に向けた研究開発の先行投資を維持しており、当社グループに対する要請は堅調に推移いたしました。

当社グループの中核である技術者派遣事業では、航空宇宙関連、医療機器関連等の新規開拓を進め、チーム派遣等の営業施策と連動した取組により、高稼働率を維持しました。また、昨年度以来設置した宇宙事業推進室、受託業務推進室を通じ、航空宇宙分野、請負事業を強化し、より高度な技術領域の拡大を実現してまいります。

以上のような施策の結果、総稼働人数、契約単価はともに上昇いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第３四半期連結累計期間の売上高は406億２百万円（前年同期比6.3%増）となりました。また、人件費の上昇、前期に国内外の大型案件を完工していた影響により、営業利益は37億５百万円（同5.6%減）、経常利益は38億83百万円（同4.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億84百万円（同3.7%減）となりました。

なお、当社は次世代に向けた強みを創出すべく、アウトソーシングサービス事業の強化はもとより、農業・介護・サプライチェーンマネジメントをはじめとする新たな事業分野の開拓と、ものづくり事業の拡大に向けた施策を推進しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① アウトソーシングサービス事業

主要事業であるアウトソーシングサービス事業では、技術者派遣を中心に、技術プロジェクトの受託、事務派遣等を行っております。人材獲得競争が激化している中にあっても優秀な人材を確保するため、インターンシップ等、より働き方の理解が進む採用企画を実行しました。また、引き続き成長が期待できる先端技術分野や航空宇宙分野の技術教育を強化し、チーム派遣、請負化等の営業施策と連動した取組により、引き続き稼働率は高水準を維持し契約単価も上昇いたしました。その結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は370億４百万円（前年同期比6.2%増）となりました。また、人件費の上昇により営業利益は34億46百万円（同0.6%減）となりました。

② グローバル事業

グローバル事業では、海外におけるプラント設備、機械・設備機器等の設計・製作・据付及びメンテナンス並びに人材サービスを行っております。需要が拡大している半導体業界を中心に、新規案件の受注獲得と人材サービス事業の拡大により、当第３四半期連結累計期間においては、売上高は受注が好調に推移したため35億８百万円（前年同期比7.7%増）となりました。また、前期に大型案件を完工していた影響により、営業利益は２億92百万円（同41.9%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は312億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億19百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金の増加によるものであります。負債合計は101億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億98百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金の増加によるものであります。この結果、純資産の部は210億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億21百万円増加いたしました。

これらの結果、自己資本比率は67.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、当社グループに対する足元の派遣要請が引き続き堅調のため、2026年２月12日に公表いたしました連結・個別業績予想に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,118,668	14,893,334
受取手形、売掛金及び契約資産	7,277,930	7,404,200
商品及び製品	27,231	17,565
仕掛品	250,413	353,429
原材料及び貯蔵品	285,985	256,306
その他	829,199	985,030
流動資産合計	22,789,427	23,909,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,968,079	3,925,000
減価償却累計額	△2,095,072	△2,157,822
建物及び構築物（純額）	1,873,007	1,767,177
土地	1,809,311	1,806,453
その他	793,633	921,408
減価償却累計額	△595,948	△634,851
その他（純額）	197,684	286,556
有形固定資産合計	3,880,003	3,860,187
無形固定資産		
のれん	64,068	44,848
その他	130,475	129,321
無形固定資産合計	194,544	174,169
投資その他の資産		
投資有価証券	1,234,842	1,598,827
関係会社株式	59,638	59,638
繰延税金資産	753,479	1,276,378
リース投資資産	3,898	3,293
その他	395,255	348,542
投資その他の資産合計	2,447,114	3,286,681
固定資産合計	6,521,662	7,321,039
資産合計	29,311,089	31,230,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	234,013	384,844
短期借入金	208,568	204,308
未払金	2,151,286	1,517,769
未払法人税等	788,387	1,165,191
賞与引当金	1,931,803	3,670,808
役員賞与引当金	26,800	25,260
その他	3,130,002	2,809,008
流動負債合計	8,470,861	9,777,189
固定負債		
長期借入金	2,166	－
退職給付に係る負債	143,516	136,613
その他	257,860	258,928
固定負債合計	403,542	395,541
負債合計	8,874,404	10,172,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,347,163	2,347,163
資本剰余金	2,784,651	2,796,640
利益剰余金	16,013,458	16,341,074
自己株式	△1,791,986	△1,773,410
株主資本合計	19,353,287	19,711,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648,900	902,059
為替換算調整勘定	372,405	385,199
その他の包括利益累計額合計	1,021,306	1,287,258
非支配株主持分	62,091	59,449
純資産合計	20,436,685	21,058,175
負債純資産合計	29,311,089	31,230,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
売上高	38,190,870	40,602,833
売上原価	29,397,035	31,714,859
売上総利益	8,793,834	8,887,973
販売費及び一般管理費	4,869,484	5,182,360
営業利益	3,924,349	3,705,613
営業外収益		
受取利息	16,411	30,987
受取配当金	20,299	26,121
助成金収入	39,813	40,547
為替差益	－	4,283
その他	80,113	108,614
営業外収益合計	156,638	210,555
営業外費用		
支払利息	2,210	1,965
株式報酬費用消滅損	5,364	3,167
投資事業組合運用損	2,993	4,293
寄付金	－	10,000
為替差損	1,990	－
その他	3,275	12,936
営業外費用合計	15,834	32,361
経常利益	4,065,153	3,883,806
特別利益		
固定資産売却益	1,072	1,673
投資有価証券売却益	－	4,331
寄付金収入	653	－
特別利益合計	1,726	6,004
特別損失		
固定資産売却損	216	3,358
固定資産除却損	－	0
特別損失合計	216	3,358
税金等調整前四半期純利益	4,066,663	3,886,452
法人税、住民税及び事業税	1,981,400	1,928,914
法人税等調整額	△614,935	△638,967
法人税等合計	1,366,464	1,289,947
四半期純利益	2,700,198	2,596,505
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,227	12,376
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,683,971	2,584,128

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	2,700,198	2,596,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154,066	253,158
為替換算調整勘定	△40,525	12,637
その他の包括利益合計	113,541	265,795
四半期包括利益	2,813,739	2,862,301
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,796,735	2,850,080
非支配株主に係る四半期包括利益	17,003	12,220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	162,726千円	170,832千円
のれんの償却額	19,220千円	19,220千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	アウトソーシングサービス事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,849,043	3,258,658	38,107,702	83,167	38,190,870
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	39,147	39,147	－	39,147
計	34,849,043	3,297,806	38,146,849	83,167	38,230,017
セグメント利益又は損失(△)	3,465,895	502,989	3,968,884	△46,424	3,922,459

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス付き高齢者向け住宅事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,968,884
「その他」の区分の損失(△)	△46,424
セグメント間取引消去	1,890
四半期連結損益計算書の営業利益	3,924,349

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	アウトソーシングサービス事業	グローバル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,004,827	3,508,733	40,513,561	89,271	40,602,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	23,030	23,030	－	23,030
計	37,004,827	3,531,764	40,536,592	89,271	40,625,864
セグメント利益又は損失(△)	3,446,814	292,435	3,739,250	△35,527	3,703,723

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サービス付き高齢者向け住宅事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,739,250
「その他」の区分の損失(△)	△35,527
セグメント間取引消去	1,890
四半期連結損益計算書の営業利益	3,705,613

(重要な後発事象)

(共通支配下の取引等)

当社は、2026年８月６日開催の取締役会において、当社の連結子会社である㈱アルプスアグリキャリアの農業生産事業を、新たに設立する㈱アルプスリージョナルパートナーズ十勝に承継させる新設分割を行うことを決議し、2026年10月１日付けで実施いたしました。

また、㈱アルプスアグリキャリアの派遣事業を㈱アルプスビジネスサービスに吸収合併することを決議し、2026年10月１日付けで実施いたしました。なお、本再編は当社が100%出資する連結子会社及び関連会社の吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

１．新設分割・吸収合併の目的

北海道十勝地方にて農業生産や農産物の加工を行う新会社を新たに設立し、サプライチェーンマネジメントを推進するとともに、派遣事業の統合によりグループの経営資源のより一層の効率化を図ります。

２．新設分割の要旨

(1) 分割の日程

① 分割計画書承認取締役会（㈱アルプスアグリキャリア） 2026年８月６日

② 分割期日（効力発生日） 2026年10月１日

(2) 分割当事会社の概要

	分割会社	新設会社
商号	㈱アルプスアグリキャリア	㈱アルプスリージョナルパートナーズ十勝
所在地	神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番	北海道河東郡音更町十勝川温泉北十四丁目１
代表者の役職・氏名	代表取締役社長　渡邊　淳	代表取締役社長　石橋　武
事業内容	アウトソーシング事業（農業、畜産、環境、食品分野）	農産物の生産、加工、販売事業、他
資本金	400,000千円	25,000千円
設立年月日	2018年４月２日	2026年10月１日
大株主及び持株比率	㈱アルプス技研　100%（連結子会社）	㈱アルプス技研　100%（非連結子会社）
直前事業年度の財政状態及び経営成績	2025年12月期	－(注)
純資産	80,020千円	－
総資産	255,543千円	－
１株当たり純資産	10,002円56銭	－
売上高	917,544千円	－
営業利益	△61,381千円	－
経常利益	△53,414千円	－
当期純利益	△38,975千円	－
１株当たり当期純利益	△15,534円26銭	－

(注)新設会社の確定した最終事業年度はありません。

(3) 分割した事業部門の概要

ア．分割承継した部門の事業内容 ： 農業生産事業

イ．分割承継した部門の経営成績（直近事業年度の売上高） ： 8,074千円

ウ．分割承継した部門の資産及び負債の金額 ：

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	26,162千円	流動負債	1,212千円
固定資産	50千円	固定負債	－

３．吸収合併の要旨

(1) 合併の日程

① 合併契約承認取締役会 (㈱アルプスビジネスサービス) 2026年８月６日

(㈱アルプスアグリキャリア) 2026年８月６日

② 合併契約締結 2026年８月６日

③ 合併期日（効力発生日） 2026年10月１日

(2) 合併の方式

㈱アルプスビジネスサービスを存続会社とし、㈱アルプスアグリキャリア（消滅会社）の農業生産事業を除き吸収合併しました。

(3) 合併に係る割当の内容

本合併による株式その他金銭等の割当てはありません。

(4) 合併当事会社の概要

	存続会社	消滅会社
商号	㈱アルプスビジネスサービス	㈱アルプスアグリキャリア
所在地	神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番	神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番
代表者の役職・氏名	代表取締役社長　柳澤　秀憲	代表取締役社長　渡邊　淳
事業内容	人材ソリューション事業、教育ソリューション事業、登録支援事業	アウトソーシング事業（農業、畜産、環境、食品分野）
資本金	100,000千円	400,000千円
設立年月日	1986年４月１日	2018年４月２日
大株主及び持株比率	㈱アルプス技研　100%（連結子会社）	㈱アルプス技研　100%（連結子会社）
直前事業年度の財政状態及び経営成績	2025年12月期	2025年12月期
純資産	1,311,830千円	80,020千円
総資産	1,931,327千円	255,543千円
１株当たり純資産	10,931円92銭	10,002円56銭
売上高	3,687,507千円	917,544千円
営業利益	352,255千円	△61,381千円
経常利益	359,832千円	△53,414千円
当期純利益	247,377千円	△38,975千円
１株当たり当期純利益	2,061円48銭	△15,534円26銭

(注)㈱アルプスアグリキャリアは農業生産事業を除く。

(5) 合併後の状況

本合併後の当社の商号、本店所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。

４．今後の見通し

本件は、当社が100%出資する連結子会社及び関連会社のみが対象となるため、当社の2026年12月期連結業績予想への影響は軽微であります。ただし、個別の業績予想につきましては精査の上、業績予想の修正が必要な場合は速やかにお知らせします。

３．（参考）

(1) 2026年12月期第３四半期の（要約）個別四半期損益計算書

科目	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
	金額（千円）	金額（千円）
Ⅰ　売上高	29,816,823	32,059,293
Ⅱ　売上原価	22,652,261	24,607,766
売上総利益	7,164,562	7,451,526
Ⅲ　販売費及び一般管理費	3,841,531	4,139,715
営業利益	3,323,030	3,311,811
Ⅳ　営業外収益	449,184	707,927
Ⅴ　営業外費用	286,999	229,018
経常利益	3,485,216	3,790,720
Ⅵ　特別利益	1,009	5,930
Ⅶ　特別損失	－	0
税引前四半期純利益	3,486,225	3,796,650
法人税、住民税及び事業税	1,684,695	1,687,051
法人税等調整額	△578,670	△579,532
四半期純利益	2,380,200	2,689,131

（注）　四半期損益計算書は、「財務諸表等規則」に従い作成し、要約した上で記載しております。